

助産師による、NPO法人地域
母親支援サージファミを行う
高津三枝子さん



2016年11月に出張専門助産院Sage Femmeを開業し、2017年9月にはNPO法人地域母親支援サージファミを設立した。そして今、高津さんが取り掛かっているのは、高崎駅近くに産前産後のお母さんをはじめとした母親支援の活動拠点「Sun-Bar」のオープンすること。

●朝/昼/晩御飯を保育園でとる子どもたちと働く大人 ●Sun-Bar〜心地よい居場所づくり ひとごこち〜

<http://sagefemme.jp/>



認定NPO法人じゃんけんぽん
事務局・ふれあいの居場所
近隣大家族で働く佐塚頭子さん



「500円の栄養満点ランチへ行かない？」子どもを連れてもう何度も訪れ、食事やシニアの方と触れあいを楽しんでいます。そんなコミュニティを大事にしたカフェを運営されているのがじゃんけんぽんさん。棟高町(の近隣大家族)ではママサポートもスタート!

●地域の人が「大家族」になれる場所 ●寄り添える場所を作る仕事 ●『集い人』の話 <http://www.jankenpon.jp/>



委託販売専門店Rocca Mall(ロッカモール)
ハンドメイド作家さんとお客様をつなぐ
長井桂子さん



前橋リカの中でもひとときわ目を惹くお店と言えよここ！ハンドメイド作家100名の作品がざらりと並んでいる様子にワクワクが止まりません。「雑貨好きの普通のママだった」という長井さんは現在株式会社K-factoryの経営者さん。「好き！」を仕事にする魅力とやりがいを伺いました。●サイズ27×27×27cmの店舗！作家100名の世界●作家さんの作品を扱うお店ならではの魅力 <https://roccamall.jimdo.com/>

6

地域で出会う 長野・群馬



6人のワクワクストーリー
続きは「6→QR」へ！



最終ゴールは、
みんなで幸せになること
野口あゆみさん

「今のママは、子供と一緒に学べる場もあり、集える場もあり、恵まれてい

ると思う。だけど、アウトプットしていける場が少ないと感じている。シュクルでは、アウトプットできる場づくりを目指して、生き生きと輝き、自信を持って社会に出た人たちが、また次の人に幸せの種まきをする〜そんなサポートをしていきたい。」●〜サロンシュクル〜女性のための幸せのお手伝い ●来秋、地元篠ノ井に幸せの循環、複合型サロンをオープン



「今」目の前を楽しむ 早川嘉子さん

自分の中にないものを求めて、外で探し続けていた時期もあったという、早川さん。今はサロンシュクルのスタッフとして活動中。「仕事、家事と育児の日常が幸せで楽しい。当たり前のようにおとずれる毎日ありがたい」という、早川さんのお話をうかがいました。●仕事、家事、育児のやりがい ●家族との大切な時間



ココロと体の癒しを広めていく活動
小林あきさん

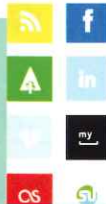
サロンシュクルスタッフ・セラピスト、「ほしよみや」として多面的に人を癒すお仕事をされている小林さん。「人を癒したい、笑顔にしたい」その想いが小林さんの軸であり、原動力となっている。●子供と一緒に楽しい場所〜!PO〜 ●「自分らしく。好きを仕事に」サロンシュクル、ほしよみやココロに花を



◆店舗情報 メナードフェイシャルサロンシュクル

長野市川中島町原203-10 グリーンシティ原B101 TEL 090-7214-4620(野口)
営業時間 9時~19時(完全予約制) 詳細は、「長野市シュクル」で検索

情報探索力



今日の3者

- ・ライターMさん(37歳)
- ・個人事業者Aさん(36歳)
- ・会社勤務Iさん(24歳)

女性3人にお集まりいただきました。さて、今はネットをはじめ、情報量やその速さは異常なほど動いています。逆に質の高い情報を早く手にする探索力が、生活や人生の豊かさにも影響していると言っています。いいと思います。ついこの間まで学生さんだったIさんは、どうやって情報探索をしていますか？

◆Iさんー自分も友人もTVを持っておらず、スマホでニュースを読みます。探しに行くというより、流れてくるなかで目に止ったものに「立ち止まり・見る・読む」といういった向き合い方です。公式な情報はGoogle検索しますが、今を知る情報としては、Facebook、Pinterest、Instagramの順によく使っています。

◆Mさんー情報の使い分けはありますね。身近なところだと、お店の口コミ(評価)を知るのに個人投稿の#ハッシュタグを見てランチを決める、なんてこともあります。

◆Aさんー写真の量や全体の雰囲気を見て出掛ける。本当に美味しかったかは自分で食べてみないとね。検索と調べ、私は自分の仕事の投稿に#をつけて、あとで自分が見つけやすいようにしています。ブログでいうところのタグ付ですね。

仕事上、常に発信している方も多いと思います。「発信するより探す労力のほうが大変」という言葉が印象的でした。それが、Iさんの言う「拾おうと行かない、流れているから」と言う若者の情報との向き合い方に結ばれると感じます。興味深い話!

さて、若者&事業者さんとの情報交流は裏面1月イベントをご覧ください。お楽しみに!